

第152号
2021.2.1
(令和3年)

ひこね 市議会だより



メッセージ贈呈式（彦根西中学校）

コロナに負けるな！ 医療従事者へのメッセージ (彦根市立病院)



メッセージ贈呈式（彦根東高等学校）

令和2年11月定例会（11月30日～12月21日）

- 11月定例会で決まったこと… 2～6
- 個人質問・個人質疑……… 7～17
- お知らせ…………… 18～20

インターネット中継やFacebookは [彦根市議会](#) で検索

11月定例会の結果

11月定例会の結果

12月21日（月）に閉会した11月定例会の結果についてお知らせします。

予算関係15件、条例関係11件、その他議案8件を審査し、原案のとおり可決、同意しました。

また、意見書1件を可決、3件を否決しました。

11月定例会 議案の議決結果

会期：11月30日（月）～12月21日（月）

■全員賛成で可決・同意した議案等

項目	番号	件 名
議 案	121	令和2年度(2020年度)彦根市一般会計補正予算(第10号)
	122	令和2年度(2020年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
	124	令和2年度(2020年度)彦根市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
	125	令和2年度(2020年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	126	令和2年度(2020年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
	128	令和2年度(2020年度)彦根市水道事業会計補正予算(第4号)
	129	令和2年度(2020年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第2号)
	131	彦根市稻枝駅前駐車場条例案
	132	彦根市事務分掌条例および彦根市職員定数条例の一部を改正する条例案
	133	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案
	136	彦根市国民スポーツ大会等運営基金の設置、管理および処分に関する条例の一部を改正する条例案
	137	彦根市督促手数料および延滞金徴収等に関する条例等の一部を改正する条例案
	138	ひこね市文化プラザの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
	139	彦根市観光駐車場条例の一部を改正する条例案
	140	彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案
	141	彦根愛知犬上広域行政組合の共同処理する事務の変更および規約の変更に関する協議につき議決を求めるについて
	142	彦根市犬上郡営林組合規約の変更に関する協議につき議決を求めるについて
	143	彦根市南老人福祉センターおよび彦根市南デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めるについて
	144	彦根市北老人福祉センターの指定管理者の指定につき議決を求めるについて
	145	彦根市北デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めるについて
	146	彦根市佐和山デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めるについて
	147	損害賠償の額の決定につき議決を求めるについて
	148	彦根市功労者の表彰につき同意を求めるについて
	149	令和2年度(2020年度)彦根市一般会計補正予算(第11号)
意見書	5	防災・減災、国土強靭化対策の継続・拡充を求める意見書案

■議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報 告	31	損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 一：議長)

項目	番号	件 名	結果	辻 真理子	中 睦子	川 英明	角 向洋	井 達也	獅 元気	堀 正敏	山 正剛	北 祥浩	杉 典隆	上 一繁	野 博雄	中 克彦	原 利幸	谷 矢吹	和 森田	野 吉則	村 安子	森 康彦	林 隆史	小 赤井	川 茂樹	黒 伊藤	馬 容子	長 任男	崎 勝
議 案	116	令和2年度(2020年度)彦根市一般会計補正予算(第9号)	可決	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	117	令和2年度(2020年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	118	令和2年度(2020年度)彦根市病院事業会計補正予算(第5号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	119	令和2年度(2020年度)彦根市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	120	令和2年度(2020年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	123	令和2年度(2020年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	127	令和2年度(2020年度)彦根市病院事業会計補正予算(第6号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	130	彦根市スポーツ・文化交流センターの設置および管理に関する条例案	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	一	
	134	令和2年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	135	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
意見書	6	尖閣諸島周辺海域での中国公船による漁船追尾等に関する意見書案	否決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	一	
	7	後期高齢者医療費の2割負担化の中止を求める意見書案	否決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	一	
	8	核兵器禁止条約に署名・批准し、核なき世界の実現を求める意見書案	否決	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	一	



一般会計補正予算の主な事業

議員報酬

△59万4千円

本市特別職の常勤職員の期末手当について改正を行うため、その例によることとされている議員の期末手当について減額するものです。

特別職給与費

△72万5千円

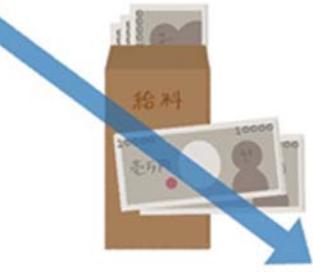
特別職の国家公務員の給与改定に準じ、本市特別職の給与について改定を行うため、職員手当および共済費を減額するものです。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの市民が困難な生活を強いられているという現状を考慮するとともに、引き続き、全市を挙げて地域経済の再生に取り組むなかで、その財源に充てるため、12月期末手当を減額するものです。

(内訳)

【特別職の給与改定関係】

・市長期末手当減額	△5万5,500円
・副市長期末手当減額	△4万6,200円
・市長および副市長期末手当減額に伴う共済費の減額	△5,266円
・教育長期末手当減額	△4万2,300円
・教育長期末手当減額に伴う共済費の減額	△8,364円



【市長等の給与の特例に関する条例関係】

・市長期末手当（△20%）	180万3,750円 → 144万3,000円（減額分△36万750円）
・副市長期末手当（△10%）	150万1,500円 → 135万1,350円（減額分△15万150円）
・市長および副市長期末手当減額に伴う共済費の減額	△2万7,785円
・教育長期末手当（△5%）	137万4,750円 → 130万6,013円（減額分△6万8,737円）
・教育長期末手当減額に伴う共済費の減額	△1万3,229円

【共済組合負担金率等改定影響】

・市長および副市長に係る共済費の増額	6,051円
・教育長に係る共済費の増額	4万6,593円

職員給与費

△8,005万7千円

人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じ、本市職員の給与について改定を行うため、職員手当および共済費の補正を行うもののほか、人事異動等に伴う給料、職員手当および共済費の再算定等に伴い、減額するものです。

(内訳)

・給料（人事異動、育児休業等に伴うもの）	△7,601万5千円
・職員手当（人事院勧告、退職手当、時間外勤務手当、人事異動等に伴うもの）	1,848万6千円
・共済費（人事院勧告、標準報酬月額改定、人事異動、育児休業等に伴うもの）	△2,252万8千円

一般会計補正予算の主な事業

国際交流推進事業

350万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、運営に大きな影響が出ているミシガン州立大学連合日本センターに対し支援を行うための費用です。

(積算内容)

- ・ミシガン州立大学連合日本センター支援金

所要額

現計額

補正額

350万円 - 0円 = 350万円



▲ミシガン州立大学連合日本センター



▲放課後児童クラブの様子

放課後児童クラブ運営事業

433万円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するための対策に係る費用です。

(積算内容)

所要額

現計額

補正額

- ・消耗品費 583万3千円 - 325万8千円 = 257万5千円
- ・修繕料 120万1千円 - 40万円 = 80万1千円
- ・備品購入費 611万2千円 - 515万8千円 = 95万4千円

商工会議所・商工会育成事業

170万円

稲枝商工会が会員事業所に対して実施する新型コロナウイルス感染症対策支援事業に係る補助を行うための費用です。

(積算内容)

所要額

現計額

補正額

- ・稲枝商工会支援事業補助金 170万円 - 0円 = 170万円

11月定例会その他の質疑

議案第135号に対して角井英明議員から、議案第149号に対して辻真理子議員から質疑がありました。

予算常任委員会

令和2年度(2020年度)彦根市一般会計補正予算等、議案15件を可決

予算常任委員会は、11月30日（月）、12月11日（金）、21日（月）に委員会を開催し、15件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第116号、議案第117号、議案第118号
議案第119号、議案第120号、議案第121号
議案第122号、議案第123号、議案第124号
議案第125号、議案第126号、議案第127号
議案第128号、議案第129号、議案第149号

【主な質疑】

- 議案第116号に対して
 - Q 特別職の給与改定について、市長の給与減額は公職選挙法に抵触する寄附行為と思っていないのか。
 - A 寄附行為という認識はない。
- 議案第121号に対して
 - Q ミシガン州立大学連合日本センターの運営補助を本市がする必要があるのか。
 - A 施設の維持管理経費は滋賀県が負担している。本市の国際交流に寄与する施設でもあることから、英会話教室などの運営にあたる職員の人件費として、本市が負担することは妥当と考える。

【主な討論】

- 議案第116号に対して
 - 反対 今回の市長の期末手当減額補正は、県内他市町に例がない。4月に市長選挙を控えており、寄附行為であるため、この時期の減額補正を認めるべきではないことから反対する。
- 議案第116号から議案第120号までに対して
 - 反対 国家公務員の人事院勧告に基づき、市職員の期末手当を引き下げるものであり、他の全ての労働者に悪影響を及ぼすことから反対する。
- 議案第123号および議案第127号に対して
 - 反対マイナンバーカードを活用した資格確認システム導入が含まれており、前提がマイナンバーカードの使用であることから反対する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

彦根愛知犬上広域行政組合の共同処理する事務の変更および規約の変更に関する協議につき議決を求ることについて等、議案4件を可決

市民産業建設常任委員会は、12月14日（月）に委員会を開催し、4件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第131号、議案第139号、議案第141号
議案第142号

【主な質疑】

- 議案第139号に対して
 - Q 前回の駐車場の料金改定からあまり日がたっていないが、なぜこのタイミングなのか。
 - A 消費税増税に伴い、京橋口駐車場の近隣8か所の民間駐車場の内、4か所で料金改定があり、また、他の国宝4城の内、1つについても、料金の値上げがあったため。

- Q 夜間の利用者の利便性を考え、駐車場を無料で開放しては。

- A 民間の駐車場も有料であり、市営駐車場だけ無料ということは、現在考えていな

- i。○議案第141号に対して

- Q 新たな一般廃棄物中継施設が来年4月1日に設置されるとあるが、いつまで使用できるのか。

- A いつまで使用するかは決まっていない。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決



企画総務消防常任委員会

彦根市スポーツ・文化交流センターの設置および管理に関する条例案等、議案6件を可決

企画総務消防常任委員会は、11月30日（月）と12月15日（火）に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第130号、議案第132号、議案第133号
議案第134号、議案第135号、議案第136号

【主な質疑】

○議案第130号に対して

- Q なぜ料金設定を時間単位にしたのか。
A 1時間単位で貸し出ることによって、市民や利用者の方に気楽に利用いただきたいため。
Q 使用時間が、午前9時～午後9時30分となつた理由は。
A 小学校の登校時間帯や夜間利用による近隣住宅街への影響を考慮したため。
- 議案第132号に対して
- Q 行政デジタル推進課を、4月1日ではなく1月1日に設置するのはなぜか。
A 国が推進する行政デジタル化に対し、迅

速に対応するため。

【主な討論】

○議案第130号に対して

反対 料金設定は県内施設と比べて格段に高く、長期利用割引や高齢者割引、弓道場の2分の1使用など他施設で行われているサービスがないこと、何の負担もしていない4町の市民が彦根市民と同じ料金で使用できるのはおかしいことから反対する。

○議案第134号に対して

反対 来年4月の市長選挙における公職選挙法の寄附行為になると思うために、反対する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

彦根市南老人福祉センターおよび彦根市南デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求ることについて等、議案6件を可決

福祉病院教育常任委員会は12月16日（水）に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第138号、議案第143号、議案第144号
議案第145号、議案第146号、議案第147号

【主な討論】

○議案第138号に対して

- Q 市民会館の使用期限は6月末までだがひこね市文化プラザのギャラリー使用が9月からとなっているのは適切か。
A 市民会館のギャラリーには空調設備がなく、夏場の使用は1～2件ほど。使用予定の方には説明をし、ご理解いただける範囲内であると考える。
Q 利用料金の減免の有無などは。
A ひこね市文化プラザの設置および管理に関する条例第8条に減免できるよう明記されており、管理運営に関する規則に詳しく規定している。

○議案第143号に対して

Q 南デイサービスセンターの定員は。
A 23名の予定。
Q 職員10名の内訳は。
A 生活相談員兼ケアワーカーが3名、それ以外のケアワーカーが4名、看護師2名、理学療法士が1名の計10名。
Q 職員の確保は出来ているのか。
A プロジェクトチームを結成し、しっかりと取り組み、対応いただけると考える。
Q 現在の利用者への説明は。
A 本議案の議決後、現在の指定管理者である彦根市社会福祉協議会から利用者へ周知される。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決



市政について
質す!

11月定例会個人質問

21人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

ホームページから見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

QRコードから見る

QRコードを読み取っていただくと、それぞれの配信ページに繋がります。

ライブ配信・録画配信の視聴について（本会議のみ）

ライブ配信は、本会議を彦根市役所中央町仮庁舎で実施する間、音声配信のみとなります。録画配信は、休憩時間等をカットし、編集して、配信する予定です。※委員会については、配信しておりません。

彦根市役所本庁舎での開催となり次第、本会議・委員会ともに映像での配信を行う予定のため、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。配信については、「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。

<http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/>



森田 充議員
企画総務消防常任委員会



ヤングケアラーについての認識は



支援する必要のある事例である

その他の質問

- ・高等専門人材の育成についての考え方
- ・国スポ・障スポの2025年への延期について
- ・彦根市の図書館整備の考え方

Q ヤングケアラーについて、彦根市としての認識は。

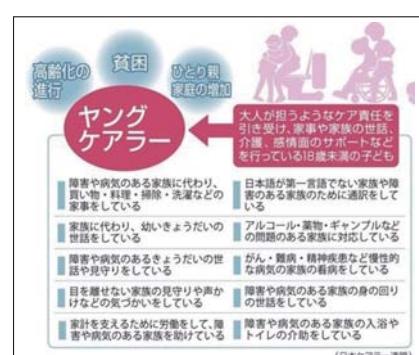
A 本来大人が担うべき家事や家族の世話を日常的に行う事で「学校に行く」「友達と遊ぶ」といった本来守られるべき子どもの権利が侵害されている可能性がある。児童虐待のネグレクトに含まれる行為でもあり、早期に発見し、支援する必要のある事例である。

Q 市長としての認識は。

A 教育だけでなく福祉部局とも連携し、対応を図る必要があると考える。本市としても事例報告がある場合、早期にキャッチし関係機関と連携し適切に対応していく。

Q 部局横断の仕組み作りが重要と考えるが見解は。

A 福祉、教育、医療等子どもに関わる関係機関で構成される子どもを守る地域ネットワークである要保護児童対策地域協議会が中心となり支援を行う。



▲ヤングケアラーとは

個人質問



上杉 正敏議員
市民産業建設常任委員会



公用車による交通安全対策強化をすべきでは



全庁挙げて取り組ませていただく

その他の質問

- 彦根署管内における交通安全対策について
- 農業施策に関する国の補助事業について
- 農業施策に関する市独自の補助事業について

- Q** 公用車の事故発生件数と保有台数に対する事故発生率は。
- A** 平成29年度は37件の事故があり、事故発生率は13.8%、平成30年度は24件の事故があり、8.8%、令和元年度は24件の事故があり、9.1%であった。
- Q** コメンタリー運転による安全確認を進めては。
- A** コメンタリー運転は、声を出して周囲の状況確認を行い、運転者はしっかりと危険予測をしながら運転することができるため、周知徹底していく。
- Q** 今後の事故防止に向けた取組に対する市長の見解は。
- A** たびたびの事故の報告を申し上げて、議案の審議をいただくことに深くお詫び申し上げたい。議員から具体的な事例でご示唆いただいた助言をしっかりと整理し、着実に実行できるように、全庁挙げて取り組ませていただく。



▲彦根市の公用車



矢吹 安子議員
市民産業建設常任委員会



生ごみ削減による「まちづくり」への見解は



生ごみ堆肥化から経済活性化につながれば

その他の質問

- 悲願の彦根城世界遺産登録への取組は
- 県市協働の世界遺産登録推進に向けた取組は
- 世界遺産にふさわしいまちづくりとは

- Q** ゴミ減量の行動 5Rの中のリフューズの取組は。
- A** レジ袋無料配布中止により、買物でマイバックを持参し、レジ袋を購入しない人が圧倒的に多く、レジ袋のリフューズは着実に増えている。
- Q** 堆肥化した肥料で野菜等の栽培をしては。
- A** 生活環境課職員が簡易生ごみ処理普及啓発団体の方々と一緒にEM活性液やばかしづくりをしながら意見交換している。美味しく良質な作物ができるということから、無農薬栽培や有機栽培も目標の一つとして普及啓発したい。
- Q** 生ごみの堆肥化からまちづくりを。
- A** 無農薬栽培の普及までにはまだ至らないが、実現できたら学校、旅館等に提供することで地産地消の促進や地場産業として地域経済の活性化につながり、まちづくりの仕組づくりとなることを期待する。



▲EM活性液づくり（薩摩町にて）



獅山 向洋議員
企画総務消防常任委員会



西清崎での造成・市道の工法決定の時期は



市道は2年程度要し、造成は令和6年9月頃



その他の質問

- コロナ禍対策事業の効果について
- 市立病院の予防医療体制について
- パートナーシップ制度の検討について

Q 新ごみ処理施設候補地「西清崎地区」は地質調査の結果、業者は「余盛・圧密沈下工法」より「サンドコンパクションパイル工法」が有効と思われると述べ、住民説明会では荒神山山間部を通過する市道計画の公表があった。これでは同地区がトータルコストで最も安価との前提が崩れるのではないか。造成工事・市道工事の工法決定はいつになるのか。

A 造成工事は令和6年9月頃、市道工事は2年程度要すると考える。

Q 工法決定で工事費が増大したとき、候補地の選定替えをする可能性はあるのか。

A 工法未定の現段階では考えておられない。

Q 工法・工事費が明確になるまで環境影響評価等の手続を控えるべきではないか。

A 供用開始の遅延を避けるため手続は進められる。



▲関係車両の主要走行ルート



辻 真理子議員
福祉病院教育常任委員会



新型コロナ感染症対応病床は何床か



現在の受入可能病床は35床

その他の質問

- 医師不足の解決策は
- 救急隊員の感染対策は
- 文化財保護行政のあり方を問う
- 令和3年度予算の基本的考え方について

Q 新型コロナウイルス感染症対応病床は何床か。

A 現在の受入可能病床は35床である。

Q 専属医療スタッフは。

A 呼吸器内科医師4人を中心、看護師の正規職員20人を配置。

Q 一般診療への影響は。

A 4月～10月の外来患者数は約18.4%減、入院患者数は約12.3%減である。

Q コロナ対応での臨時経費は。

A 医療機器が約8,800万円、診療用材料が約2,100万円、受付・消毒業務等の委託料が約2,000万円など合計約1.7億円。

Q 医業収益はどのような状況か。

A 4月から10月まで、入院収益が約4.57億円（前年比約10.2%）、外来収益が約0.9億円（同約4.2%）の減少だった。



▲彦根市立病院の検温受付
(7月21日)



個人質問



黒澤 茂樹議員
企画総務消防常任委員会



学校図書館（室）の充実は



読書活動支援員の配置充実に努める



その他の質問

- ・小中学校トイレ洋式化の進捗状況は
- ・稲枝地区公民館へのエレベーターの設置はいつまでに実現するのか

Q 学校司書の配置状況は。

A 現在、学校司書の役割を担う読書活動支援員 6人が 1人当たり 4 校を担当している。1校当たり週 1日または 2日の配置となっている。

Q 以前 2校に 1人を目標に配置するとの答弁があったがどうなっているのか。

A 読書活動支援員を配置することで、学校図書館の環境整備が進む。その結果、より子どもが読書に親しみ、読書活動推進の取組につながることから、読書活動支援員は非常に大切な役割を担っている。現在は 6名で全 24校を担当しているが、今後、読書活動支援員の配置充実に努めていく。

Q 学校司書常設の影響は。

A 児童生徒の学ぶ環境を整え、「生きる力」の育成に向けて高い効果が期待できるものと考えている。



▲図書室の配架の状況



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会



学校給食の無償化や一部補助の考えは



現在のところ考えていない



その他の質問

- ・自殺を防ぐ対策、取組は
- ・長浜市のPayPayを活用した「最大20%戻ってくるキャンペーン」を実施する考えは

Q 以前から 7人に 1人の割合の子どもが貧困家庭で暮らしているといわれていたが、コロナ禍の現在の状況は。

A 児童扶養手当や生活保護の受給状況から、子どものいる世帯の経済状況に少なからず影響を及ぼしているものと推測される。

Q 学校給食の無償化を何度も求めているが、子どもたちの食のセーフティーネットとして、コロナ禍で困難な今こそ必要。無償化はできないと切り捨てず、段階的にでも、せめて一部補助等でも検討できないか。

A 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対しては、就学援助費等の援助制度があり、給付条件を満たす方が申請いただいた場合、学校給食費も給付しているため無償化や一部補助は現在のところ考えていない。



▲命のセーフティーネットとなる学校給食



林 利幸議員
企画総務消防常任委員会



奨学金返済支援制度の利用状況は



A 保育士 6名から申請をいただいている



その他の質問

- 議案第121号令和2年度彦根市一般会計補正予算案について

Q 幼児教育・保育の無償化による影響は。

A 保育所等への令和2年4月からの新規利用申請数は前年の905人から106人増加。無償化は待機児童数の増加に影響した。

Q 待機児童数は。

A 令和2年4月1日時点で56人。

Q 不足している職員数は。

A 常勤保育士が17人、パート保育士が10人の合計27人の保育士が不足している。

Q 奨学金返済支援制度の利用状況は。

A 令和2年9月から市内民間保育所に対し案内しているところだが、10月30日現在で保育士6名から申請をいただいている。

Q 離職対策は講じているのか。

A 今年度園長等管理職を対象とした組織マネジメント研修を実施した。



▲無邪気な園児たちの姿



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会



獣害を完全になくすために必要なことは



A 防止柵の適切な設置と獣害対策意識の向上



その他の質問

- 広域ゴミ処理センター用地嵩上げ前の河川整備を考えているか
- 荒神山からの雨水を宇曾川に流すのは本当に可能か

Q 獣害侵入防止柵の未設置の距離は。

A 設置方法により異なるが、約700m。

Q 被害は減少しているか。

A 防止柵の設置、巡回パトロールや不良箇所の補修など、地元自治会で管理していただいて減少している。

Q 荒神山の周囲約10kmに防止柵ができるのはいつか。

A 市が計画するのではなく、資材支給を行い、地元自治会に設置、管理をお願いしている。2018年度から5年程度で完了するとされている。

Q 完全に獣害をなくすには市のリーダーシップが必要では。

A 獣害侵入防止柵の設置、管理を地元で行っていただくとともに、市としては被害発生集落の住民を対象とした獣害対策研修会への参加の呼びかけ、集落ぐるみでの獣害対策の意識の向上と啓発などの対策を講じる。



▲獣害対策のための捕獲柵





中川 瞳子議員
市民産業建設常任委員会

Q

荒神山の市道計画は環境保全に問題があるか

A

環境に影響があることを認識している



その他の質問

- コロナ禍で冬からの教育環境をどう考えるか
- 従来型のPCR検査以外で「社会的検査」の実施が必要ではないか

Q 荒神山を中心とした地域を今後どのように活かすのか。

A 荒神山神社の修復工事補助、荒神山古墳など文化財の保護と周辺環境を整えることで歴史的風致の向上に活かす。

Q 活かすための問題点は。

A 歴史的建造物の老朽化や活動を支える担い手の減少が課題。

Q 荒神山にごみ焼却施設を移転することの市の見解は。

A 荒神山周辺地域の環境と共存できる施設の計画・設計を進めていかれるものと聞いている。

Q 荒神山の自然を壊し、市道を通すことと、環境保全についての問題は。

A 荒神山の環境に影響あることを認識している。

Q この計画は、彦根市歴史的風致の観点から、人工的構造物との整合性はあるのか。

A 周辺環境と調和する計画となるよう景観誘導を図り、歴史的風致の保全に努め、整合性を図る。



▲荒神山千手寺前に立つ石碑



中野 正剛議員
企画総務消防常任委員会

Q

フォトスクリーナーで弱視を早期発見しては

A

導入自治体の情報を収集し、検討していく



その他の質問

- 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの導入を
- 視覚障害者等の学校における読書環境保障への取組は

Q 彦根市の3歳6か月児健康診査での視力検査の方法は。

A 検査は看護師が担当し、問診票での確認と、片方に遮蔽レンズを入れた眼鏡をかけてもらい「ランドルト環」を使用した視力測定を行っている。

Q 3歳6か月児健康診査で弱視を早期発見できれば、どれくらい視力が回復できるのか。

A 視力は0~3歳までの間に急速に発達し、6歳頃には大人と同程度の視力になる。

そのため一概には言えないが、弱視を早期に発見し治療を受けることで小学校入学までには視力の改善が期待できる。

Q 3歳6か月児健康診査にフォトスクリーナーの導入を。

A 現在、実施している視力検査では屈折異常の発見は難しいため、導入自治体の情報を収集し、子どもたちにとってより良い健診となるよう検討する。



▲3歳6か月児視力検査で使用されているランドルト環



谷口 典隆議員
企画総務消防常任委員会



安定ヨウ素剤の備蓄等についての情報発信は



広報ひこね1月1日号への掲載に向け調整中



その他の質問

- ・スポーツ施設のメインアリーナを文化団体やコンベンションで利用することは可能か
- ・広報ひこねの紙面刷新について

Q 9月市議会定例会で提出された「彦根市の教育施設などに安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願」の審査の際に私は、まずは現在の備蓄状況について市民に知っていただくことが、本市の取組に対する理解の促進につながるものと考え、広報ひこねへの情報掲載を提言したが、早急に取り組む考えは。

A 本市では現在、安定ヨウ素剤を彦根市立病院で薬剤部管理の下、備蓄している。備蓄に関する情報発信については議員からの提言を踏まえ、その効果や備蓄量、備蓄場所、配布および服用、配布場所、服用量、配布等の周知方法について、10月にホームページに掲載した。広報ひこねへの掲載については、令和3年1月1日号への掲載に向け、調整しているところである。



▲彦根市立病院に備蓄されている安定ヨウ素剤



馬場 和子議員
福祉病院教育常任委員会



彦根市民憲章の五本柱を元にした公約実現は



公約61項目のうち97%が実現しつつある



その他の質問

- ・彦根市総合計画の位置づけと市政への反映について
- ・びわこビエンナーレの今後の方向性について

Q 彦根市民憲章は彦根のあるべき姿を市民が共通認識するためのものであるが、その提唱の経緯は。

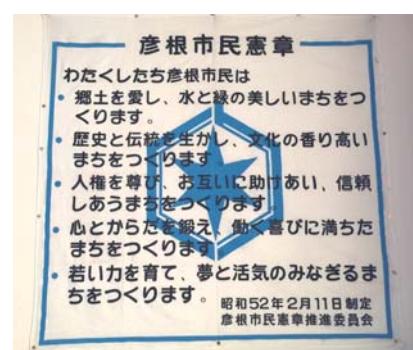
A 市制施行40周年を記念し昭和51年9月に8団体による発起人会が結成され、制定委員会を設置。市民アンケート実施後に起草案がその年の12月議会で議決され翌年2月11日に制定宣言された。

Q 五本の柱に即した市長公約の中、実現したものは。

A 強い彦根を創るため10の約束として示した61項目のうち、実現したものは59項目の97%について着手し実現に向けて取り組んでいる。

Q 実現しなかった残り3%のために来春の市長選への出馬の意向は。

A 新型コロナウイルス禍を乗り切るために全力を尽くしている最中で来年のことに考えが及んでいない。



▲彦根のあるべき姿を掲げた彦根市民憲章



伊藤 容子議員
福祉病院教育常任委員会



不登校生徒・児童に対する今後の取組は



関係機関や民間施設等連携し支援充実を図る



その他の質問

- 近隣の大学の学び直しにおける今後の連携は
- スマートシティ構想における今後の取組は

Q 不登校児童・生徒の状況は。

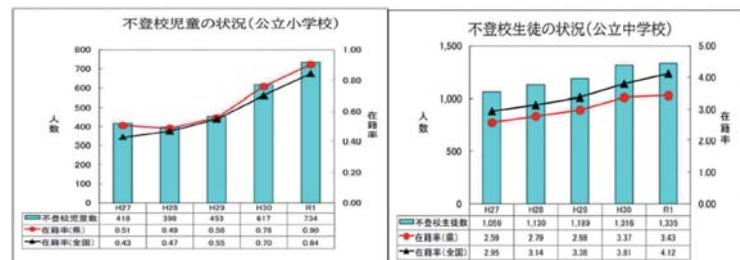
A H29年139人、H30年156人、令和元年204人と毎年増加傾向。

Q これまでの取組と効果は。

A 担任を中心とする家庭訪問とともに、学校で組織的に対応。時間をずらした登校、保健室等の別室での対応や、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを学校へ派遣し、カウンセリング、学校への助言や、教師の研修を実施。継続した組織的な取組が状況改善につながっている。

Q フリースクールとの連携は。

A 児童生徒の出席や学習状況について情報共有し、指導内容も把握している。経済的支援は法律上難しいが、保護者支援は研究してまいりたい。



▲滋賀県不登校児童生徒の状況



赤井 康彦議員
福祉病院教育常任委員会



唯一無二のまちづくり条例を創らないのか



彦根らしい条例が制定できればと考える



その他の質問

- 直弼公の学習に関する地域差について
- 教科書から直弼公の文字が消えたのはいつ頃からか
- 学区体育振興会の名称変更は

Q 唯一無二の条例はその自治体の未来のカタチや思い、熱意など自治体の力が透けて見えるものであり独自の条例を制定する事で市の誇りや底力を見せられるとは思わないか。

A 本市の魅力を広く発信することができ、彦根らしさをアピールするための有効な方法の一つだと認識している。

Q まちづくりの条例制定を目的として若者の意見を反映できないか。

A 今後、彦根にふさわしい唯一無二の条例を制定することになった際には意見の集約のみならずプロセスにも参画いただき一体となって進めてまいりたい。

Q 市長は現状の彦根に満足することなく唯一無二の条例を創ることによってまちづくりの機運を高めようと思わないのか。

A 彦根らしい文化の香り高い条例が制定できればと考える。





小川 隆史議員
市民産業建設常任委員会



新市民体育センターの管理運営を問う



施設の多目的利用を検討する

Q 新市民体育センターの整備費総額、指定管理料、維持管理費の見込額および使用料等の考え方を問う。

A 整備費総額の見込額は約87億6千万円、完成後の維持管理経費見込額は年間約1億3千万円で、利用料収入約3,800万円を差し引いた指定管理料が約9千万円を想定している。また、彦根市、多賀町、豊郷町、甲良町、愛荘町民の使用料と減免および、彦根市内勤労者・団体の使用料等は、同一基準を想定している。



Q スポーツ棟とまちなか交流棟以外の施設の使用は。



A スポーツ棟とまちなか交流棟以外の、交流ストリート、お祭り広場、駐車場等の施設も使用できるよう規定していくことを検討する。

▲新市民体育センターの現在の壁面活用状況



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会



認知症行方不明者への対応は



認知症SOS安心ネットワーク事業で対応

その他の質問

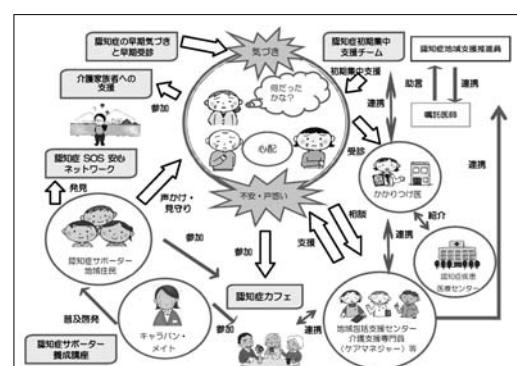
- ・老人クラブ活動補助金について
- ・彦根市老人クラブ連合会について
- ・福祉バスについて

Q 認知症行方不明者への対応は、どのようにしているのか。

A 認知症SOS安心ネットワーク事業として、認知症等により行方不明になられた高齢者の早期発見・早期保護のために、彦根市総合情報配信システムを活用して広く情報の提供を行っている。

このシステムを活用するために、家族等から本人の住所・氏名や特徴、緊急連絡先などを伺い、併せて家族の方の承諾により写真の提供もお願いしている。

行方不明になったときは、警察署に捜索願いを提出していただいたあと、家族等の依頼にもとづき、高齢者情報を市民や事業所に配信し、捜索の協力を呼びかけている。また、配信をスムーズに行うためにホームページ等にて周知するなどして、事前登録を勧めている。



▲認知症支援策のイメージ（彦根市）



杉原 祥浩議員
企画総務消防常任委員会



出張所窓口で更新等ができなくなった理由は



A 西口仮庁舎の市民課における混雑緩和のため

その他の質問

- コロナ禍における大量の粗大ごみ搬入の今後の対応策は
- 犬や猫の、最近の相談や問い合わせの数は

Q 高宮地域文化センターを含む4か所の出張所の窓口業務で、マイナンバーカードの更新等ができなくなった理由は。

A 業務終了の理由としては、西口仮庁舎の市民課におけるマイナンバーカード関連業務の混雑緩和のため、出張所からのパソコン端末引き上げを実施したため。

Q パソコン端末を増設することは検討されないのか。

A 市民へのサービス提供を考えると、増設は4か所同時が好ましい。マイナンバーカード交付率が20%という低い状況を考慮すると、増設をする折には、カードの交付事務も出張所で扱えればと考える。増設を実施するには、一定の費用や、操作する人員も必要となることから、市民課の窓口状況を注視し、検討していく。



▲高宮地域文化センター



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会



自治体クラウド導入によるコスト削減額は



A 6年間で約3億4千万円のコスト削減となる

その他の質問

- オンライン申請の活用状況は
- 求職者や市内企業への支援が必要では
- セーフティネットの拡充が必要では

Q 自治体クラウド導入の目的は。

A ①高島市とのシステム共有による経費削減②カスタマイズ抑制による業務の標準化③セキュリティ強化や災害時の影響を最小限に抑えるため。

Q どれくらいのコスト削減に繋がるのか。

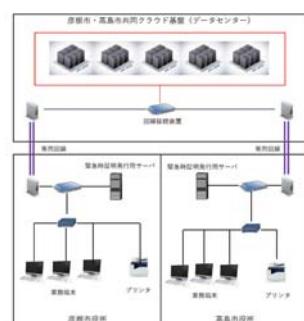
A 6年間で約3億4千万円のコスト削減となる。

Q 既存クラウドの導入は検討したのか。

A おうみ自治体クラウドは、業務パッケージが異なりシステムの機能見直しやデータ移行作業が膨大となるため見送った。長浜市・東近江市との共同利用を検討していたが、本市と高島市の2市で共同利用する方が安価となるため、2市での共同利用に至った。

Q 他自治体との積極的な連携は。

A 参加自治体が増えるほど経費削減効果が大きいため、県内外を問わず共同利用を研究・検討していきたい。



▲自治体クラウドのイメージ



長崎 任男議員
市民産業建設常任委員会



アクセス道路の工事費は



概算で約38億円を見込んでいる



その他の質問

- ・市展が中止に至った経緯は
- ・市展を楽しみにしていた方への対応は
- ・コロナ禍における彦根市の考える文化振興の方向性は

Q 10月18日に開催された住民説明会で広域ごみ処理施設に伴う市道整備について示されたアクセス道路案の概要はどのようなものか。

A 市道大藪金田線と稻村山農道との間を連絡する道路で、荒神山の山間部を通過する延長2,600メートル、幅員は3メートル幅の車道2車線と片側に3メートルの歩道を設置する計画であり、今後の調査や設計により詳細なルートを決定することになる。

Q アクセス道路の工事で架橋やトンネル掘削の工事費はどれくらいになるのか。

A 計画策定にあたり、現段階で概算の事業費を算出したところ、計画延長約2,600メートルで測量や調査、設計費、用地取得費およびトンネルや橋梁の道路改良工事の総額で約38億円を見込んでいる。



▲アクセス道路が計画される市道大藪金田線



森野 克彦議員
市民産業建設常任委員会



来年度の学校行事は予定通り
行えるか



可能な限り実施できるよう支援
に努める



その他の質問

- ・木俣屋敷の整備と利活用について
- ・ドローンを活用した獣害対策について
- ・コロナ禍において児童虐待の影響はないか

Q 臨時休校で失われた学習時間の補てんの進捗は。

A 今年度中には学習の遅れが補てんできる。

Q 来年度の学校行事は予定通り行えるか。

A 感染状況を注視しながら、集団感染リスクの対応を徹底したうえで、行事の規模や内容を十分検討する必要があり、今年度の経験を生かして、可能な限り学校行事が実施できるよう努めていく。

Q 修学旅行中止の代替行事は全小中学校で行われたのか。

A 全小中学校24校のうち、19校で代替行事として校外学習に出かけたり、5校では例年とは異なる形で特別な行事を計画して実施したり、子どもたちにとって強く印象に残る価値ある教育体験活動となるよう、各校の職員が一丸となって代替案の検討を行ったうえで実施した。

彦根市 SEARCH MENU

彦根市立小・中学校における修学旅行の中止について PDFファイル: 550.9KB

更新日: 2020年08月18日
令和2年度の彦根市立小・中学校の修学旅行の中止についてお知らせします。

1.彦根市立小・中学校における修学旅行の中止について (PDFファイル: 550.9KB)
2.新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた学校行事の実施について (PDFファイル: 122.2KB)

この記事に関するお問い合わせ先
教育委員会事務局 学校教育課
電話: 0749-24-7973
ファックス: 0749-23-9190
メールフォームからお問合せする

▲コロナの影響で修学旅行をはじめ中止・縮小となった本年度の学校行事





今回の講義において、私は議員のやりがいや日常の様子、自身のビジョン、実際に市民のためになった事例等について話をしました。実際に市民のためになった事例として、一般市民からだけではなく現場からも要望があり、実際に問題の解決に繋げることができた「消防救急体制が1班分増強された事例」を紹介しました。

学生の皆さんには真剣に耳を傾けていただき、わからないことや気になること等について、都度、熱のある質問を頂戴しました。

私からは、選挙時の公約から、観光産業の活性化、誘客増加についてお話ししました。世界遺産登録を目指す彦根城を核とする文化財の活用、口ヶ誘致など新たな映像産業の創出など、可視化に向けた活動をわかりやすく報告しました。

学生の皆さんからは、身近にある彦根城や観光施策に対して、学生目線で感じる課題や提案について発言がありました。若い人たちの声もしっかりと行政に反映していくかなくてはならないと改めて感じた講義でした。

堀口 達也議員
(1期目)

今回は、私が政治家になったきっかけ、オランダでの生活のこと、選挙や議会の仕組み、議員としての1日のスケジュールや仕事内容、福祉病院教育常任委員会での取組、会派活動や地域での要望活動等について、率直に学生の皆さんにお話ししました。

若者の投票率向上も大切ですが、それ以上に若者の政治参加が必要です。今回の講義を受講した学生が将来、「私も政治家になりたい」と思う1つのきっかけになれば嬉しいです。

滋賀大学経済学部と彦根市議会との連携および協力に関する協定に基づく事業の一環として、令和2年10月27日に「議員になるとは」というテーマで3名の議員が講義に参加しました。

コロナ禍での開催となったため、対面およびオンライン方式で実施いただきました。



議会報告会の開催について

彦根市議会では、市政に関する情報を提供するとともに、多様な意見を把握することにより、市民の皆さまと議会の情報の共有化を進めることを目的に、議会報告会を開催しています。

令和2年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、感染対策を講じた新たな形での開催に挑戦中です。

詳細は彦根市HPをご覧ください。

彦根市HP議会報告会ページ <https://www.city.hikone.lg.jp/shisei/gikai/6/5806.html>



福祉病院教育常任委員会

←開催終了



▲意見交換会の様子

令和2年10月30日に「第34回 彦根市議会 議会報告会」として、彦根市老人クラブ連合会との意見交換会を開催しました。当日は、検温・消毒・常時換気等、感染対策を行った上で、会場に集まつての開催とさせていただきました。

動画配信(予定)→

市民産業建設常任委員会

昨年度の報告会でいただいた課題の内、「彦根城の文化財を活用した観光施策」について、①開国記念館 ②旧木俣家屋敷 ③玄宮楽々園と旧八景亭の現状や活用方法等の報告をする予定です。特別に内部の様子も配信します。

令和3年2月中旬頃に配信する予定です。ぜひご覧ください。



▲旧木俣家屋敷

企画総務消防常任委員会

←動画配信(予定)



▲工事の様子（議場）

所管事務調査で継続して調査を行っている本庁舎耐震化工事について、完成間近な現地の様子とその特徴をフロアごとに報告する予定です。

令和3年2月中旬頃に配信する予定です。ぜひご覧ください。

令和3年2月定例会から彦根市役所本庁舎で開催します（予定）



市役所耐震補強・増築・改修工事に伴い、本会議・委員会を彦根市役所中央町仮庁舎で開催しておりましたが、令和3年2月定例会からは、彦根市役所本庁舎にて開催します（予定）。
※市役所の窓口業務等の移転については、別日程となります。

編集後記

昨年は4回の定例会と2回の臨時会を開催し、のべ100名以上の議員が質疑ならびに一般質問を行い、市政運営に対し活達な議論が交わされました。特に新型コロナウイルス感染症対策関連の議案に対しては慎重に審査されたところです。

本市においても、市民生活や経済活動は大きな打撃を受けています。来年度は歳入が減少することが確実となる中、昨年度に引き続き枠配分方式により編成された予算に基づく市民サービスが提供されることになります。

市議会として市民生活に支障がないようしっかりと審査してまいります。

広報委員会



本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
2月19日（金）	開 会	9：00
3月 1日（月）		
3月 2日（火）	個人質問	9：00
3月 3日（水）		
3月 5日（金）	予 算 常 任 委 員 会	9：30
3月 8日（月）	予 算 常 任 委 員 会	9：30
3月 9日（火）	予 算 常 任 委 員 会	9：30
3月10日（水）	企画総務消防常任委員会	9：30
3月11日（木）	福祉病院教育常任委員会	9：30
3月12日（金）	市民産業建設常任委員会	9：30
3月15日（月）	本 会 議	9：00
3月18日（木）	閉 会	9：00

